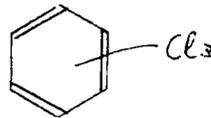


トリクロルベンゼンの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和49年5月20日～昭和49年6月25日
2. 試料名 トリクロルベンゼン (試料No K-12)



3. 試験方法及び条件

環保業第5号  
 業発第6/5号 微生物等による化学物質の分解度試験による  
 49基局第392号

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

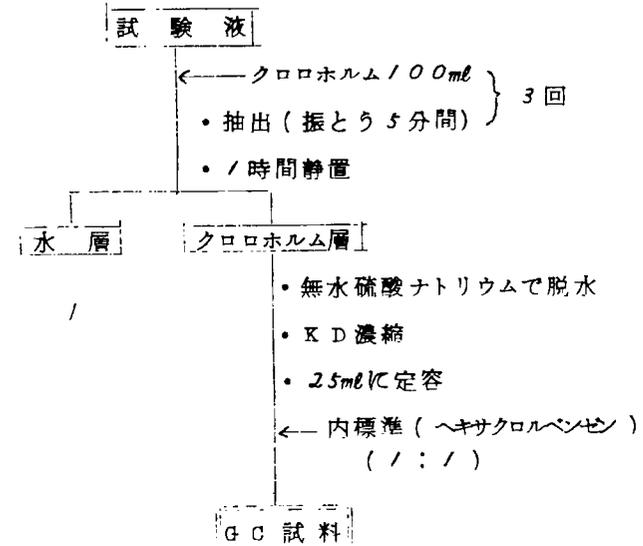
3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(以下余白 次頁に続く)

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

ガスクロマトグラフ(GC)検出器 FID  
 キャリアガス  $N_2$  1.0%  
 充てん剤 PEG 20M  
 ガラスカラム 2mm $\phi$ ×1m  
 カラム温度 70°C→160°C  
 (70°C 9分保持)  
 15°C/min 昇温

4. 試験結果

K-12	分解度 (%)	付 図
酸素消費量による結果	0	1
GC による結果	0	2~5

以 上

5. その他

水系において試料の残留がなく、かつ汚泥系においても試料の残留が認められない(酸素消費量の結果と一致しない)ということから、2週間の試験中に揮散したものと考えられる。

以 上